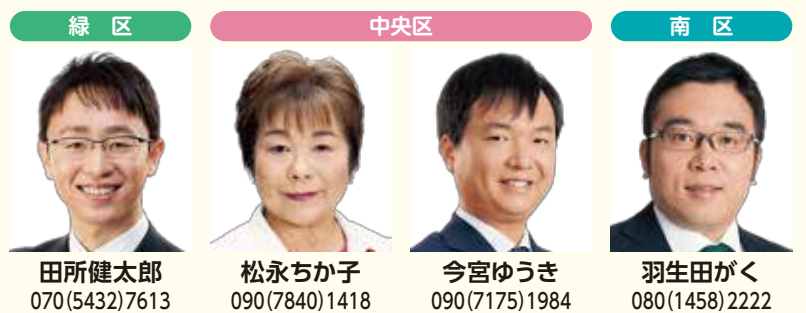


日本共産党 2020年2月

No.73

ご意見・ご相談は市議団へ

さがみはら市議団ニュース

編集・発行●日本共産党相模原市議団 相模原市中央区中央2-11-15 (市役所内)
電話：042-769-8314 FAX：042-754-7696市議団HP <http://www.jcp-sagamihara.net> メール info@jcp-sagamihara.net田所健太郎
070(5432)7613松永ちか子
090(7840)1418今宮ゆうき
090(7175)1984羽生田がく
080(1458)2222

台風19号 津久井地域で甚大な被害

被災地の復旧・復興にむけ、全力

昨年10月12日に、非常に強い勢力で上陸した台風19号により、緑区の津久井地域で土砂崩れや河川の氾濫による浸水などの甚大な被害が生じ、8人の尊い命が奪われました。

お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます。

日本共産党市議団は、被災地の復旧・復興に向け、引き続き全力で取り組みます。



国道413号線での土砂崩れ(緑区三ヶ木)

相模原市内の被害状況は

台風19号により相模原市内では、死者8人、負傷者3人、全壊22棟、半壊45棟、道路被害499か所、がけ崩れ193か所などの被害が生じ、これらのほとんどが、緑区の津久井地域に集中しています(被害の詳細は別表を参照)。

市内では、緑区鳥屋(津久井地区)で降り始めからの雨量が761ミリに達したほか、緑区牧野(藤野地区)では県の観測で884ミリを記録しています。この記録的な豪雨が甚大な被害を引き起こしました。

別表 相模原市内の被害状況(12月27日現在)

- 住家被害 177棟
 - ・全壊 22棟
 - ・半壊 45棟(うち、床上浸水20棟)
 - ・一部破損 110棟(うち、床下浸水48棟)
- 非住家被害 152棟
- 田畑の流出・埋没 51か所
- 道路 499か所
- がけ崩れ 193か所
- 橋りょう流出 1か所

被災者への市独自支援策の実施、災害に強いまちづくりを

12月定例会議の代表質問と一般質問では、住宅に被害を受けた被災者のうち、公的な支援を一切受けることができない、半壊以下の世帯を対象とした市独自の支援策の実施を求めました。

これに対して市長からは、「きめ細やかな支援に努めるとともに、義援金の配分方法について検討していく」との答弁に留まりました。

川崎市では、半壊以下の浸水被害を受けた住宅に対し、一律30万円を支給すると発表しており、本市でも独自支援策を実施し、被災者の復興を後押しするために引き続き取り組みます。

また、今回の台風では、市内全体で最大6114人が避難場所に避難し、中央区や南区でも避難場所が満員になる事態も発生しました。

代表質問では、市の対応の検証や避難場所の見直しを求めたほか、すべての市民に確実に情報を伝達するために防災ラジオの早期導入などを求めました。

党市議団、被災者の救援に全力

日本共産党市議団は、発災直後から被災地や開設された避難場所等を回り、被害状況の把握とともに、被災されたみなさんのお困りごとなどの把握に努めました。

被災されたみなさんからの声を受け、浸水した家財などの災害ごみの費用を罹災証明書なしでも無料で対応することを市に求め実現したほか、日本共産党県議団と連携し、断水地域での県による給水時間の延長などを求め、実現してきました。

11月1日には、本村賢太郎市長に対し、これまでの現地調査の結果や被災者の生の声に基づいた全10項目の要望書を手渡して対応を求めたほか、同月19日と12月23日には、全国各地から日本共産党に寄せられた災害救援募金から相模原市に対して合計127万円を義援金として本村市長に手渡しました。



本村市長に義援金の目録を手渡す(12月23日)